

(第19号) ***書架の排列***

図書館の蔵書約 25 万冊は、すべて主題や形態によって分類され、書架に並んでいます。必要としている資料を短時間で手にすることができるよう、今号では書架の排列規則をご案内します。

資料は大きく図書・雑誌・視聴覚資料に区分され、図書と視聴覚資料は主題による分類順（和書の後に洋書）に並んでいます。分類法については次号でご説明しますが、背に貼られている 3 段ラベルの 1 段目が分類記号、2 段目が著者記号と版表示、3 段目がシリーズものの巻号を表します。例えば「体幹・内臓・下肢(図説人体解剖学 第 2 巻) 第 5 版 , Sobotta 著」という本のラベルは「QS17 / So12(5) / 2」となります。OPAC で検索した時に表示される「請求記号」がこのラベルを指しますので、書名に加えて請求記号も控えてから書庫に入るとよいでしょう。

雑誌は、本文の言語で和・洋に区分し、誌名の ABC 順で並んでいます。和雑誌は誌名をヘボン式ローマ字表記にしているため、「治療 = Chiryō」「日本腹部 = Nippon Fukubu」「消化器 = Shokaki」という綴りでの ABC 順になります。“the” “of” “and” などの冠詞や接続詞は除いた形で並んでいます。「BMJ」「JOP」などのように大文字の綴りで始まるものは、アルファベットの先頭に排架していますのでご注意ください。また、資料はすべて、書架ごとに左から右へ上から下へと Z 字を描くように並んでおり、右下まできたら隣または裏側左上へと続いています。書庫各層の配置については図書館 HP や利用のしおりをご覧ください。

年々保管場所が不足し、刊行年の古い部分や一部をやむをえない理由で地下に別置しているものがありますし、参考図書や大系類、厚生労働省の報告書、癌取扱い規約、統計類なども別置しています。OPAC で所蔵を確認したものが探せない時は、カウンターか各階にあるインターホンでお尋ねください。

図書館トリビア

図書館用語では「配列」を「排列」、「配架」を「排架」と表現します。「排」の字には「排除する」のほかに「モノをきちんとならべる」という意味があります。明治時代から使われていましたが、戦後の一時期、制限漢字となり「配」を使用したことが、混在する原因となっているようです。書架上の資料も規則に基づいて整然と並んでいますので、利用した後は必ず正しい位置に戻しましょう。

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。